

2009年11月6日
茨城支所 浅尾

H21年度電気学会東京支部茨城支所 見学会実施報告

茨城支所では平成21年度見学会を開催した。

1. 開催日時 2009年10月23日(金) 14:30~16:40
2. 見学先 首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市上金崎720)
3. 参加者 小口委員、千綿委員、月田委員、池田幹事、他電気学会会員 計7名
4. 内容

台風やゲリラ豪雨から都市を守るため、洪水を地下に取り込み、地底50mを貫く総延長6.3kmのトンネルを通じて江戸川に放水する世界最大級の地下放水路。外郭放水路地底探索ミュージアム「龍Q館」にて、水が溜まり易い地形の春日部市一帯が水害を受けてきた歴史や、精巧な模型による立坑や調圧水槽、排水に用いるガスタービン、施設稼動のための自家発電システムの説明をツアーガイドから受けた後、実際に調圧水槽内を見学。調圧水槽は、幅78m、長さ177m、内空高18mという巨大スペース内に、一本当たり約500トンのコンクリート製の柱が59本存在し、その光景はまさにパルテノン神殿を思わせる。これら柱は構造維持の目的だけでなく、調圧水槽が地下水による圧力で上昇しないよう重石の役割も果たす。この放水路施設により、首都圏における水害発生は従来比5%にまで削減。このような巨大な施設を作り出せる技術に驚かされる共に、異常気象が発生しやすい今日にとって、非常に重要な施設であることを痛感。約1時間30分の施設見学を楽しんだ後、懇親会を催し、今後の見学会の在り方等を議題に懇談した。



龍Q館



調圧水槽と第一立坑